

みんなの学びチャレンジプラン

Learning Challenge Plan for Everyone

第2期西尾市生涯学習推進計画 2023→2032

資料編



学ぶ
Learning



つながる
Connecting



新しい自分
A New Self

～ひとりひとりが輝く共生社会を目指して～

Aiming for an Inclusive Society in which Each and Every One Shines

令和5（2023）年3月

西尾市教育委員会

Nishio City Board of Education



目次

1 第1期西尾市生涯学習推進計画の振り返り	1
■ 評価方法	1
■ 評価結果	2
● 基本目標1「学びをサポートする環境づくり」	2
● 基本目標2「学びを通して人づくり」	3
● 基本目標3「学びを生かしたまちづくり」	4
2 生涯学習に対する市民ニーズ	5
■ 西尾市生涯学習に関するアンケート調査	5
■ こども・子育て支援等ニーズ調査	11
3 西尾市の生涯学習を取り巻く現状	13
■ 近年の社会の動き	13
■ 国や県の実施	14
■ 西尾市の状況	16
4 策定経緯	26
■ 策定経過	26
■ 西尾市生涯学習推進委員会	27

第1期西尾市生涯学習推進計画の振り返り

次期計画の検討にあたり、第1期西尾市生涯学習推進計画の振り返りを行いました。

■ 評価方法

第1期西尾市生涯学習推進計画では、3つの「基本目標」に基づき、7つの「体系」と27の「柱となる事業」を位置づけています。

計画の評価にあたっては、下記手順に示すように、まず、柱となる事業の評価を行い、次に事業をまとめた体系の評価、最後に、体系をまとめた基本目標の評価を行いました。

評価の方法は、計画に位置付けた柱となる事業について、事業担当者に照会調査を行い、下表に基づく基準で5段階評価を行い、集計しました。

● 評価の手順

- ① 「柱となる事業」ごとに進捗・成果の状況から5段階で評価した。
- ② 「体系」ごとに①の平均値を算出し、「体系」の評価とした。
- ③ 「基本目標」ごとに①の平均値を算出し、「基本目標」の評価とした。

表 柱となる事業の評価基準

評価点	評価基準	事業進捗度
5	実施済み、または具体的な成果が表れているもの	～100%
4	実行中または計画中で進捗度が高い状況のもの、もしくはある程度成果が表れているもの	～75%程度
3	実行中または計画中で進捗度が中間程度の状況のもの	～50%程度
2	実行中または計画中で進捗度が低い状況のもの	～25%程度
1	未実施のもの、または計画の修正が必要なもの	0%

■ 評価結果

各目標の評価結果と評価点は以下のとおりとです。

● 基本目標 1 「学びをサポートする環境づくり」

各世代へ向けた講座や親子を対象にした講座など幅広い内容の講座を展開したり、学習ニーズを把握し講座内容に活用するなど、学習機会の充実には成果を上げています。また、一色地域交流センターやきら市民交流センターがオープンし、生涯学習の場の充実を図ることができました。

一方、生涯学習施設の利用方法がわかりにくいといった意見がアンケートで寄せられたり、指定管理の生涯学習施設と市直営の生涯学習施設とでは発信する情報の量や質が異なっていたり、学習情報の提供については、やや遅れが見られました。

表 基本目標 1 「学びをサポートする環境づくり」の評価

	評価点
基本目標 1 「学びをサポートする環境づくり」	3.7
体系 1 学習機会の充実	4.6
①生涯各期(ライフステージ)における学習体系の確立	5
②地域バランスを考慮した講座の開催	4
③学習ニーズの把握	5
④地域課題に関する学習機会の提供	5
⑤リカレント教育講座の推進	4
体系 2 学習の場の整備	3.0
①公共施設再配置による学習の場の提供	3
②中央機能の整備と公民館、ふれあいセンターの活用	3
③地区集会所等における学習活動の普及および支援	3
体系 3 学習情報の提供	3.0
①講座情報提供の充実	4
②学習ニーズに応じた相談窓口の充実	3
③学習情報の収集および共有化	2

●基本目標2「学びを通して人づくり」

発表の場の確保や交流の推進のための事業は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、中止が相次ぎ、近年の評価はできませんでした。コロナ禍前までの状況をみると、講座から自主サークルに移行した団体は、既存サークルへの加入も含め27団体（新規22、既存5）となり、受動的学習から能動的活動へと進展する傾向がみられました。

一方、サークル間の交流は施設ごとに差があったり、生涯学習インストラクター、生涯学習コーディネーターの登録が3名に留まるなど、指導者の発掘と活用について、成果があまりみられないものもありました。

表 基本目標2「学びを通して人づくり」の評価

	評価点
基本目標2「学びを通して人づくり」	2.6
体系4 学習成果の活用	2.5
①発表の場の確保と交流の推進	2
②受動的学習から能動的活動への誘引	4
③サークルによる自主講座開催への支援	2
④生涯学習サポーターの募集による協力体制づくり	2
⑤公民館、ふれあいセンターにサークル協議会を設置	2
⑥サークルによる生涯学習出前講座への参画	3
体系5 指導者の発掘と活用	3.3
①講師登録制度の充実と活用の推進	4
②生涯学習インストラクター、生涯学習コーディネーターの活用	2
③生涯学習推進委員会の活動内容の充実	4

●基本目標3「学びを生かしたまちづくり」

家庭教育講座や親子講座、寺子屋にしお、おやじの会といった家庭教育に関する事業は講座数や参加者数が増加するなど、一定の成果を上げています。

また、令和2年度には西尾市子ども・若者支援地域協議会を設立、令和3年度には子ども・若者総合相談センター「コンパス」を開設するなど、青少年の健全育成に向けた取組を充実させ一定の成果を上げています。

表 基本目標3「学びを生かしたまちづくり」の評価

	評価点
基本目標3「学びを生かしたまちづくり」	4.0
体系6 青少年の健全育成	4.2
①家庭教育の充実	4
②親子のふれあいを深める事業の開催	4
③地域ぐるみによる家庭教育の活性化	4
④街頭補導活動の充実	4
⑤子ども、若者の育成支援	5
体系7 協働の推進	2.5
①社会教育団体との連携	4
②まちづくりのための活動	1

■西尾市生涯学習に関するアンケート調査

次期計画の策定にあたり、市民の生涯学習の実施状況や生涯学習に関するニーズを把握するため、市内在住の市民、2,000 人を無作為抽出し、アンケートを実施しました。以下に調査概要及び主な調査結果を示します。

●調査概要

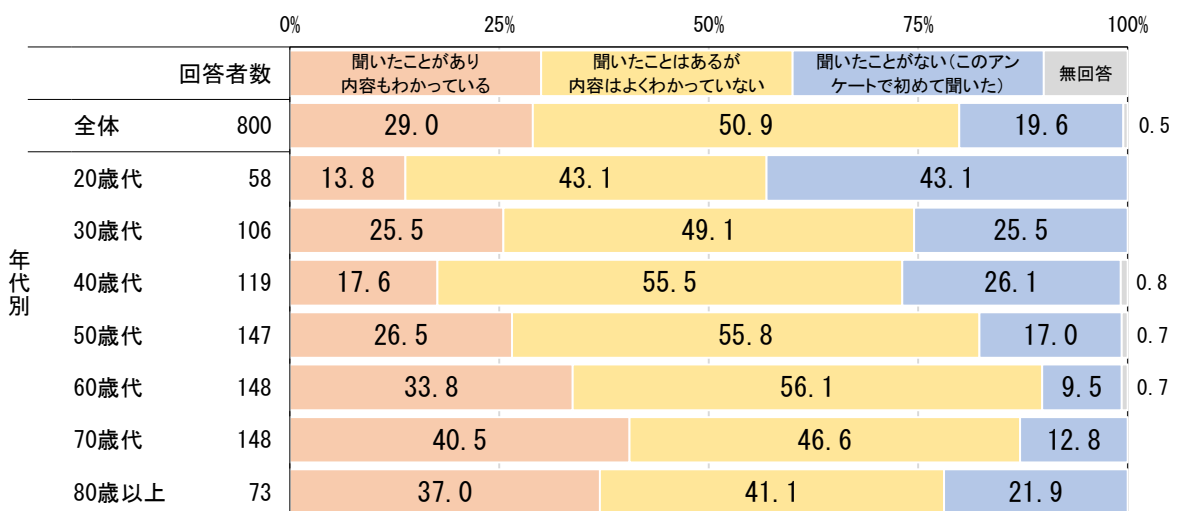
- 1 調査の目的** 第2期西尾市生涯学習推進計画（仮称）の策定にあたり、市民の生涯学習の実施状況や生涯学習に関するニーズを把握するため。
- 2 調査対象** 西尾市在住の20歳以上を2,000人無作為抽出
- 3 調査期間** 令和4年1月26日～2月14日
- 4 調査方法** 郵送またはインターネットによる配布・回収
- 5 回収状況**
 - 配布数 2,000通
 - 有効回答数 800通（内、WEB回答186通）
 - 有効回答率 40.0%

●主な結果

(1)生涯学習の現状について

①「生涯学習」という言葉の認知度（単数回答）

- ・半数以上が「聞いたことはあるが内容はよくわかっていない」。
- ・40歳代以下では、「聞いたことがない」が多い。



②近年（3年くらいの間）に行った生涯学習の内容（複数回答）

- ・「スポーツ・健康づくり」の割合が4割弱。その一方、「特に生涯学習をしていない」の回答が3割強。
- ・20歳代は生涯学習を実施している割合が高く、「スポーツ・健康づくり」や「家庭生活に役立つもの」、「趣味・芸術的なもの」への関心が高い。

単位：％

区分	回答者数(件)	趣味・芸術的なもの	教養的なもの	社会問題に関するもの	家庭生活に役立つもの	子育て・教育の知識・技能に関すること	介護・福祉活動の知識・技能に関すること	スポーツ・健康づくり	情報通信分野の知識・技能に関するもの	職業上の知識や技能に役立つもの	西尾市に関すること	ボランティア活動をするために必要な知識・技能に関すること	地域行事・まちづくり活動に関すること	その他	特に生涯学習をしていない	
全体	800	31.3	24.4	11.5	20.3	10.4	4.1	38.9	15.9	10.1	6.0	4.5	8.5	0.5	32.5	
年代別	20歳代	58	41.4	31.0	17.2	36.2	10.3	6.9	41.4	20.7	22.4	1.7	3.4	5.2	1.7	22.4
	30歳代	106	27.4	33.0	15.1	21.7	35.8	2.8	32.1	19.8	25.5	5.7	—	7.5	—	25.5
	40歳代	119	24.4	25.2	14.3	21.0	14.3	6.7	31.9	10.9	13.4	0.8	2.5	8.4	0.8	32.8
	50歳代	147	33.3	29.9	7.5	19.7	7.5	4.8	36.1	15.0	12.9	9.5	5.4	10.2	—	39.5
	60歳代	148	30.4	21.6	10.1	20.3	2.7	3.4	45.3	18.2	4.1	4.1	5.4	8.1	0.7	29.7
	70歳代	148	33.1	17.6	12.2	15.5	2.7	2.0	45.3	15.5	—	8.1	9.5	10.1	0.7	33.8
	80歳以上	73	34.2	13.7	6.8	15.1	4.1	4.1	38.4	12.3	—	11.0	1.4	6.8	—	39.7

※全体より10pt以上高い項目に白抜き

③生涯学習をする目的（「特に生涯学習をしていない」人除く）（複数回答）

- ・半数以上が「健康の維持・増進のため」。
- ・30～40歳代は「現在の仕事や将来の就職・転職などに役立てるため」が多い。
- ・60～70歳代は「他の人と親睦を深めたり、友人を得たりするため」が多い。

単位：％

区分	回答者数(件)	趣味の幅を広げて人生を豊かにしたため	家庭・日常生活に活用するため	自由時間を有効に活用するため	健康の維持・増進のため	深めたり、友人を得たりするため	他の人との親睦を深めたり、友人を得たりするため	現在の仕事や将来の就職・転職などに役立てるため	地域や社会をよりよくするため	特に理由はない	その他
全体	537	52.0	39.5	43.4	55.3	29.6	14.5	13.6	0.9	1.9	
年代別	20歳代	45	51.1	46.7	28.9	40.0	22.2	22.2	2.2	2.2	8.9
	30歳代	79	46.8	59.5	43.0	39.2	16.5	35.4	12.7	1.3	2.5
	40歳代	80	48.8	46.3	42.5	45.0	17.5	31.3	11.3	1.3	1.3
	50歳代	89	51.7	33.7	48.3	56.2	27.0	12.4	15.7	1.1	—
	60歳代	104	55.8	34.6	50.0	63.5	40.4	2.9	12.5	1.0	1.0
	70歳代	97	59.8	26.8	44.3	73.2	40.2	1.0	20.6	—	2.1
	80歳以上	43	41.9	34.9	32.6	58.1	39.5	—	14.0	—	—

※全体より10pt以上高い項目に白抜き

④（コロナ禍前）生涯学習の取り組み方法（「特に生涯学習をしていない」人除く）（複数回答）

・「個人で新聞、雑誌、本、テレビ、ラジオ、インターネットなどから学ぶ」の割合が多い。

単位：％

区分	回答者数(件)	学 同好会、サークルなどの仲間と から学ぶ	個人で新聞、雑誌、本、テレビ、ラジオ、インターネットなどから学ぶ	ふれあいセンターや公民館などの講座や教室で学ぶ	図書館、美術館、博物館などを利用して学ぶ	総合体育館などを利用してスポーツを楽しむ	町内会や地域の団体が開催する講座・教室で学ぶ	個人で健康づくりに取り組む（ジョギング、水泳など）	民間施設の講座や教室、通信教育で学ぶ	専門学校や大学の公開講座で学ぶ	職場の教育、研修で学ぶ	その他	
全体	537	24.2	52.5	20.1	20.7	13.6	8.9	33.0	10.2	1.7	9.3	2.8	
年代別	20歳代	45	17.8	66.7	4.4	11.1	8.9	6.7	22.2	8.9	13.3	11.1	2.2
	30歳代	79	8.9	64.6	12.7	27.8	15.2	3.8	25.3	12.7	—	26.6	2.5
	40歳代	80	15.0	60.0	12.5	26.3	13.8	6.3	32.5	10.0	2.5	12.5	1.3
	50歳代	89	20.2	49.4	22.5	23.6	14.6	6.7	29.2	19.1	—	7.9	2.2
	60歳代	104	27.9	50.0	22.1	15.4	16.3	11.5	37.5	8.7	1.0	3.8	3.8
	70歳代	97	38.1	43.3	30.9	20.6	13.4	11.3	43.3	4.1	—	2.1	4.1
	80歳以上	43	44.2	34.9	30.2	14.0	7.0	18.6	32.6	7.0	—	2.3	2.3

※全体より10pt以上高い項目に白抜き

⑤生涯学習をしていない理由（「特に生涯学習をしていない」人のみ）（複数回答）

・「きっかけがないから」や「生涯学習のための時間をつくることのできないから」が多い。

単位：％

区分	回答者数(件)	生涯学習のための時間をつくることのできないから	自分が希望する講座や教室がないから	学習に必要な情報（いつ、どこで、どんな）が入手できないから	学習活動と一緒にする仲間や適切な指導者がいないから	きっかけがないから	身近に学習をするための施設や場所がないから	家族の理解が得られないから	費用がかかるから	健康上の理由でできないから	興味がなく、必要もないから	その他	
全体	260	37.7	9.2	10.0	6.5	41.2	4.6	1.2	10.0	11.2	27.3	5.4	
年代別	20歳代	13	46.2	7.7	7.7	61.5	7.7	—	7.7	—	15.4	—	
	30歳代	27	55.6	7.4	7.4	3.7	48.1	3.7	18.5	3.7	11.1	7.4	
	40歳代	39	53.8	12.8	10.3	7.7	59.0	5.1	2.6	15.4	5.1	23.1	2.6
	50歳代	58	44.8	6.9	13.8	6.9	50.0	6.9	13.8	—	17.2	5.2	
	60歳代	44	34.1	9.1	6.8	6.8	47.7	4.5	6.8	4.5	25.0	4.5	
	70歳代	50	20.0	14.0	12.0	8.0	16.0	2.0	2.0	4.0	24.0	52.0	6.0
	80歳以上	29	17.2	3.4	6.9	3.4	17.2	3.4	—	3.4	41.4	34.5	10.3

※全体より10pt以上高い項目に白抜き

(2)今後の生涯学習について

①今後、行いたい生涯学習（複数回答）

- 生涯学習を行うつもりがある人は 8 割超。若い年代ほど行うつもりがある回答は多くなる傾向。
- 全体では「スポーツ・健康づくり」や「趣味・芸術的なもの」が多い。

単位：%

区分	回答者数 (件)	行うつもりがある人 81.3%													行うつもりがない人 18.7%		
		趣味・芸術的なもの	教養的なもの	社会問題に関するもの	家庭生活に役立つもの	子育て・教育の知識・技能に関するもの	介護・福祉活動の知識・技能に関するもの	スポーツ・健康づくり	情報通信分野の知識・技能に関するもの	職業上の知識や技能に役立つもの	西尾市に関するもの	ボランティア活動をするために必要な知識・技能に関するもの	地域行事・まちづくり活動に関するもの	その他	特に生涯学習を行うつもりはない	無回答	
全体	800	41.3	20.0	11.4	19.6	6.4	5.9	41.9	15.4	10.3	5.6	5.3	4.6	1.3	14.1	4.6	
年代別	20 歳代	58	41.4	20.7	13.8	31.0	22.4	3.4	32.8	15.5	20.7	3.4	3.4	—	3.4	6.9	3.4
	30 歳代	106	27.4	24.5	13.2	19.8	21.7	7.5	26.4	17.0	28.3	3.8	1.9	4.7	1.9	9.4	4.7
	40 歳代	119	36.1	25.2	12.6	25.2	5.9	9.2	47.1	14.3	20.2	4.2	6.7	2.5	1.7	7.6	5.0
	50 歳代	147	53.1	21.8	13.6	22.4	1.4	3.4	45.6	18.4	6.1	6.8	6.8	6.1	0.7	10.9	2.0
	60 歳代	148	48.0	18.9	8.8	16.9	2.0	7.4	54.7	15.5	4.1	4.1	7.4	7.4	—	10.8	3.4
	70 歳代	148	41.9	16.9	11.5	14.2	1.4	5.4	41.9	14.9	0.7	8.1	4.7	4.1	0.7	21.6	6.8
	80 歳以上	73	30.1	9.6	5.5	12.3	1.4	2.7	30.1	8.2	—	8.2	2.7	4.1	2.7	35.6	8.2

※全体より 10pt 以上高い項目に白抜き

(3)生涯学習施設について

①生涯学習のために利用したことのある市内の公共施設（複数回答）

- 「利用したことがない」との回答が多く、特に 20 歳代では 5 割以上が「利用したことがない」。
- 利用されている施設のなかでは、「ふれあいセンター・公民館・地域交流センター」の割合が高い。

単位：％

区分	回答者数(件)	ふれあいセンター・公民館・地域交流センター	総合体育館などの市運動施設	市立図書館・一色学びの館・吉良図書館・幡豆図書館	市資料館・岩瀬文庫・尾崎士郎記念館・旧糟谷邸	文化会館	勤労会館	アクティにしお	総合福祉センター・保健センターなどの福祉施設	子育て支援センター	保育園・幼稚園	小・中学校の施設	その他	利用したことがない	
全体	800	33.6	19.9	28.3	9.4	11.6	6.9	1.6	9.5	6.5	4.0	6.9	1.5	39.0	
年代別	20歳代	58	22.4	22.4	22.4	5.2	5.2	1.7	1.7	3.4	6.9	10.3	8.6	1.7	53.4
	30歳代	106	19.8	20.8	38.7	6.6	10.4	1.9	1.9	5.7	19.8	12.3	6.6	—	41.5
	40歳代	119	29.4	26.1	37.0	10.9	10.9	6.7	—	8.4	15.1	4.2	8.4	—	33.6
	50歳代	147	30.6	25.9	29.9	11.6	10.9	8.8	1.4	7.5	1.4	2.7	9.5	2.7	40.8
	60歳代	148	35.8	16.9	27.0	6.8	11.5	7.4	4.1	10.1	2.0	0.7	6.8	3.4	41.2
	70歳代	148	44.6	14.9	23.0	13.5	14.9	9.5	1.4	14.9	2.0	0.7	3.4	0.7	33.8
	80歳以上	73	47.9	11.0	12.3	6.8	15.1	8.2	—	13.7	1.4	2.7	5.5	1.4	35.6

※全体より10pt以上高い項目に白抜き

②利用してみたいと思う生涯学習施設（複数回答）

- ・「利用方法がわかりやすい施設」の割合が最も多い。
- ・若い世代で、Wi-Fiなどインターネット環境の整備を求める割合が多い。

単位：％

区分	回答者数(件)	利用方法がわかりやすい施設	空き状況がいつでも確認できて気軽に予約して利用できる施設	無料学習スペースのある施設	誰もが気軽に使える憩いの場(フリースペース)のある施設	Wi-Fi環境などインターネットが使える設備のある施設	教養や文化、芸術からスポーツまで幅広く多目的に利用できる施設	多目的ではなく施設ごとに目的を限定して専門的に利用できる施設	環境や省エネルギーに配慮した施設	誰でも使いやすいバリアフリー化などが考えられている施設	地域の歴史や文化を感じられる愛着のある施設	ふるさと西尾の情報や資料が気軽に入手できる施設	生涯学習に関する相談が気軽にできる施設	その他	
全体	800	51.3	43.0	21.3	30.1	30.1	19.6	8.0	6.9	17.4	7.6	8.5	9.8	4.9	
年代別	20歳代	58	62.1	60.3	32.8	34.5	50.0	17.2	6.9	6.9	20.7	3.4	3.4	20.7	3.4
	30歳代	106	61.3	64.2	28.3	24.5	48.1	21.7	5.7	12.3	13.2	6.6	5.7	4.7	4.7
	40歳代	119	56.3	58.8	23.5	30.3	45.4	23.5	10.9	2.5	10.1	7.6	5.9	13.4	3.4
	50歳代	147	57.8	47.6	24.5	34.0	38.8	21.1	12.2	8.2	15.6	7.5	8.8	8.8	1.4
	60歳代	148	47.3	35.8	19.6	30.4	23.6	20.3	9.5	5.4	17.6	9.5	6.8	10.1	6.1
	70歳代	148	38.5	20.3	18.2	31.1	8.8	18.9	5.4	6.1	20.9	8.1	11.5	7.4	6.8
	80歳以上	73	41.1	24.7	6.8	24.7	2.7	9.6	1.4	8.2	28.8	8.2	17.8	8.2	9.6

※全体より10pt以上高い項目に白抜き

③生涯学習を充実したほうがよい世代（複数回答）

- ・高齢期を充実した方がよいとの回答が多い。
- ・20～40歳代は幼児・小・中学生の充実を望む回答が多い。

単位：%

区分	回答者数 (件)	幼児や その親	小・中学生	高校生	青年期 (18～39歳)	壮年期 (40～64歳)	高齢期 (65歳以上)	その他	
全体	800	40.5	36.1	18.8	23.4	40.4	59.4	4.9	
年代別	20歳代	58	43.1	51.7	39.7	51.7	27.6	39.7	3.4
	30歳代	106	54.7	61.3	34.0	31.1	30.2	48.1	2.8
	40歳代	119	46.2	52.0	24.4	30.3	54.6	57.1	6.7
	50歳代	147	46.3	26.5	13.6	18.4	57.1	69.4	2.0
	60歳代	148	38.5	24.3	10.1	17.6	42.6	66.9	5.4
	70歳代	148	30.4	32.4	12.8	15.5	29.1	59.5	7.4
	80歳以上	73	21.9	12.3	11.0	16.4	27.4	60.3	5.5

※全体より10pt以上高い項目に白抜き

(4)今後の西尾市の生涯学習に期待することについて

①西尾市の生涯学習を盛んにしていくために、市が力を入れるべきこと（複数回答）

- ・「要望を反映させた生涯学習講座の実施」や「誰もが利用したいと思う生涯学習施設の整備」が多く、ソフト面、ハード面ともに充実が求められている。

単位：%

区分	回答者数 (件)	市民からの要望を反映させた生涯学習講座の実施	市民の全世代に対する多様な学習機会の提供	ボランティアやまちづくりなど地域活動につながる生涯学習事業の充実	生涯学習を通じて身に付けた成果を生かしたり発表したりする場をつくること	企業や大学などの連携による生涯学習事業の取組み	市民の誰もが利用したいと思う生涯学習施設の整備	生涯学習指導者の育成	生涯学習に取り組む同好会、サークルなどに対する支援	現状のままではかまわない	その他	
全体	800	48.8	23.8	20.1	5.4	18.3	45.6	10.3	18.0	7.3	2.9	
年代別	20歳代	58	48.3	25.9	15.5	8.6	22.4	46.6	8.6	8.6	13.8	5.2
	30歳代	106	50.9	19.8	11.3	4.7	32.1	47.2	5.7	8.5	7.5	2.8
	40歳代	119	53.8	31.9	23.5	5.0	21.8	40.3	12.6	20.2	3.4	5.0
	50歳代	147	53.7	27.9	19.0	3.4	20.4	45.6	9.5	20.4	4.8	2.0
	60歳代	148	48.0	25.7	25.7	4.7	13.5	51.4	12.8	18.2	6.8	0.7
	70歳代	148	43.9	21.6	21.6	4.1	10.1	48.0	10.8	24.3	8.1	4.1
	80歳以上	73	39.7	6.8	19.2	12.3	11.0	35.6	8.2	16.4	12.3	1.4

※全体より10pt以上高い項目に白抜き

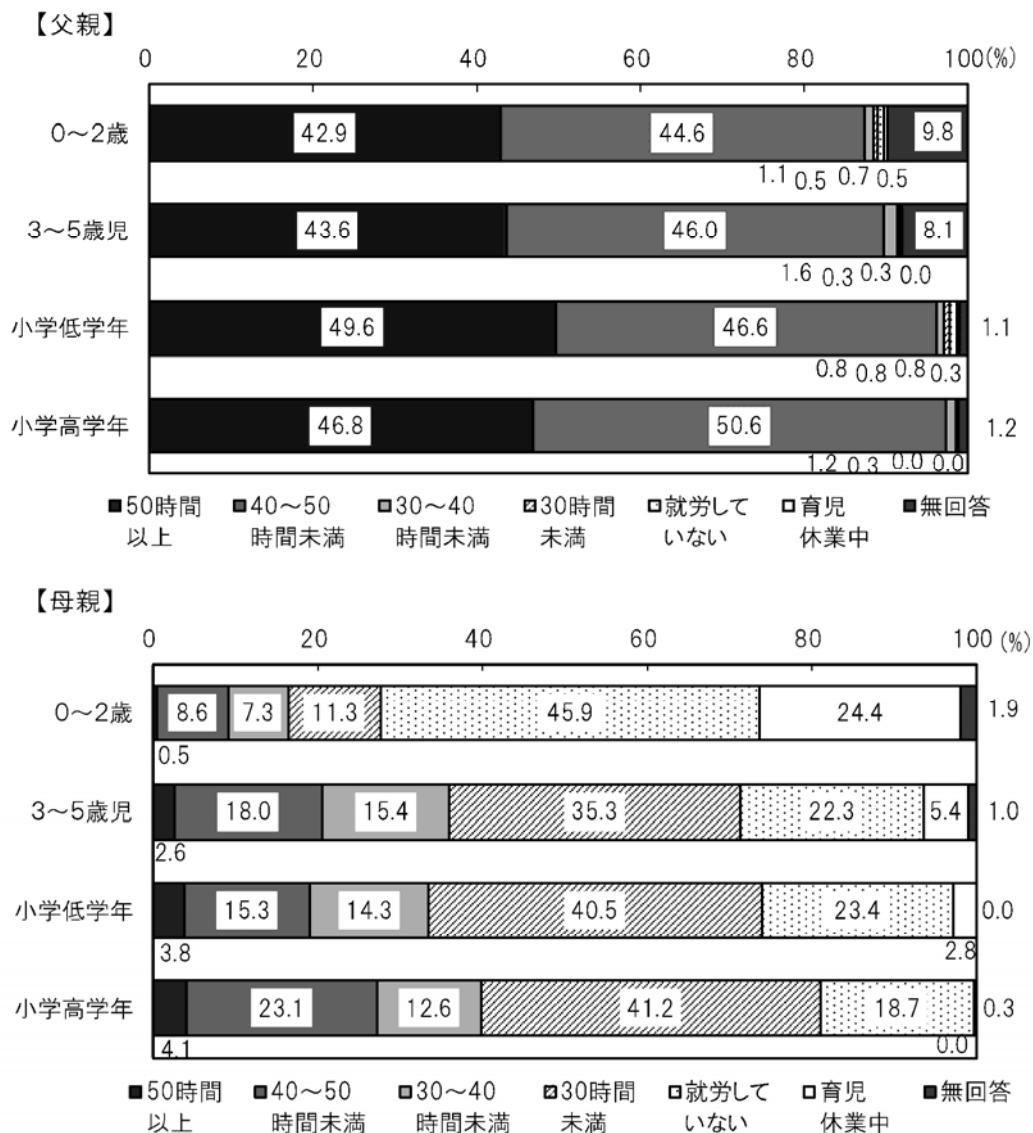
■ こども・子育て支援等ニーズ調査

令和元年度に策定された第2期西尾市子ども・子育て支援計画の策定時に実施された「子ども・子育て支援等ニーズ調査」結果より、次期計画に関連する項目についてまとめました。

● 主な結果

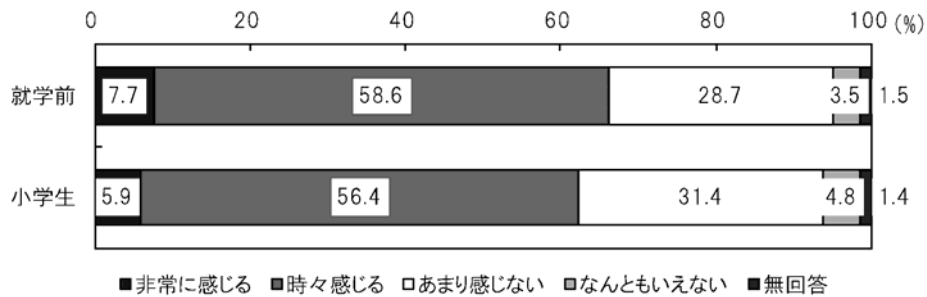
① 子育て世代の就労状況（1週間の就労時間）

- ・ 父親の就労状況は子どもの年齢で大きくかわらず、1週間の就労時間は4割以上が50時間以上。
- ・ 母親の就労状況は3～5歳で働く割合が上昇し、0～2歳では27.7%、3歳～5歳以上では働く人が70.0%以上。



②子どもの育て方で不安なこと

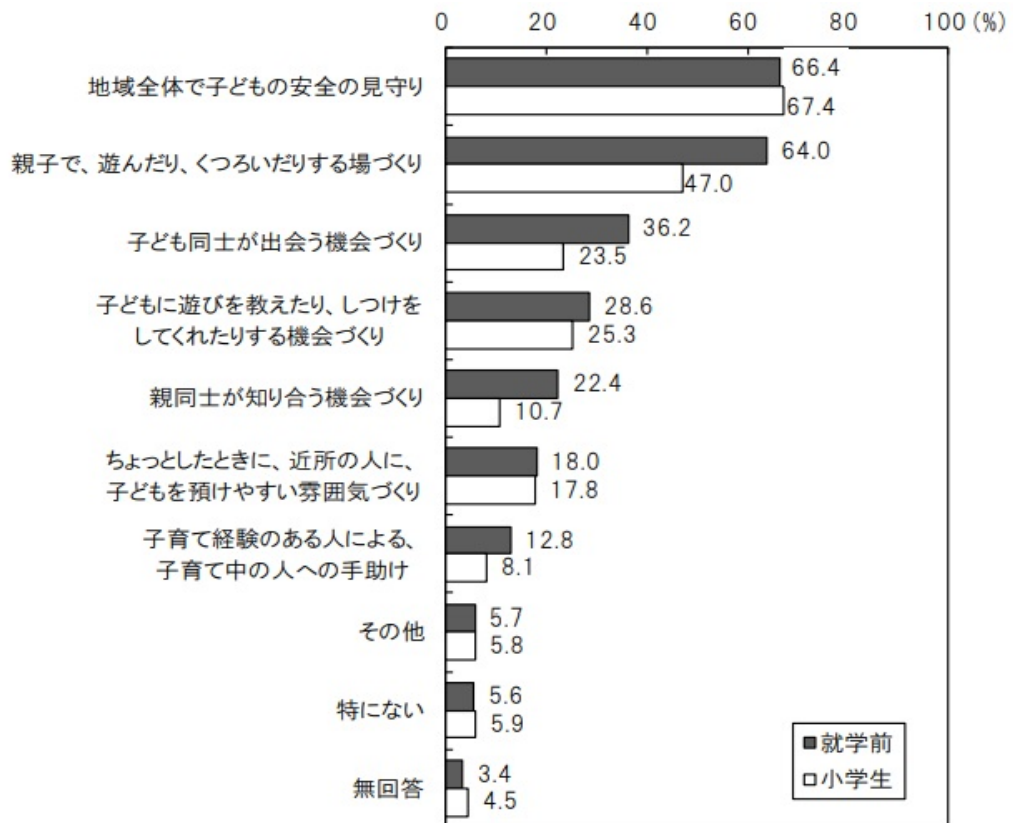
・しつけや教育について不安を感じている保護者が多い。



	就学前児童の保護者	小学生の保護者
第1位	しつけ 54.7%	子どもの心 55.7%
第2位	病気や発育・発達 48.2%	教育 53.9%
第3位	教育 47.5%	しつけ 40.5%

③子育て支援への要望（地域が取り組むこと）

・地域全体での子どもの見守りや、親子が触れ合う場などが求められている。子どもへの遊びやしつけ、保護者への手助けも求められている。



■近年の社会の動き

●SDGs

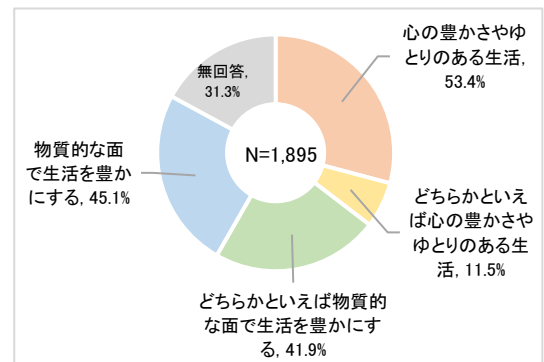
SDGs（持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals: SDGs））は、経済・社会・環境のバランスが取れた社会を目指す国際目標で、平成 27（2015）年に国連総会で採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」に掲げられています。生涯学習の分野では、「4 質の高い教育をみんなに」を中心として多岐にわたるゴールと関連しています。



資料：国際連合広報センターHP より

●ライフスタイルの多様化

「物質的な豊かさ」よりも「心の豊かさやゆとり」を重視する傾向にあるなど、人々の価値観が多様化してきています。また、近年の新型コロナウイルス感染症を契機として広がったりリモートワークやワーケーションなど、働き方も多様化してきています。価値観の多様化、働き方の多様化などにより、ライフスタイルも多様化し、生活の質を重視する社会となってきています。

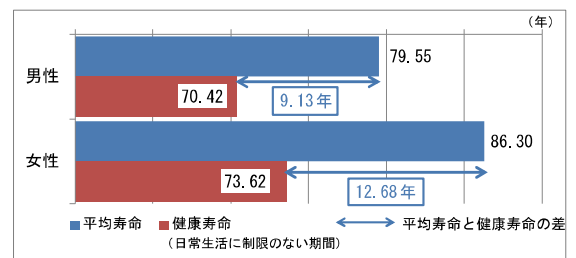


資料：内閣府「国民生活に関する世論調査（令和3年度）」により作成

●少子高齢化の進行、健康寿命の延伸

人生 100 年時代を迎えるなか、高齢者が元気に暮らし続けられる社会が求められるようになってきています。

その一方、健康に暮らせる健康寿命と平均寿命との間は 10 歳程度の差があることから、この差を縮めるための健康づくりなどが必要です。



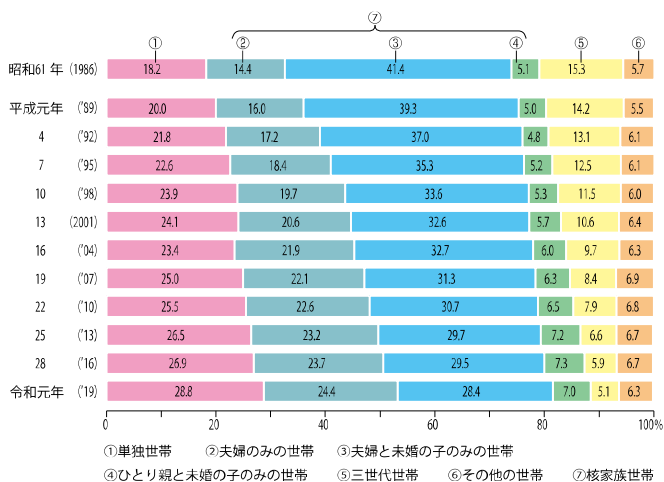
※平成 22 年の値

資料：厚生科学審議会地域保健健康増進栄養部会・次期国民健康づくり運動プラン策定専門委員会

●家庭や地域の教育力の低下

ライフスタイルの多様化による地域コミュニティの希薄化や核家族化の進行など、子どもを取り巻く環境が大きく変化してきています。

その結果、家庭や地域で子どもが大人と過ごす時間が減少し、子育て家庭が社会的に孤立したり、親が身近な人から子育てを学ぶ機会が減少したりするなど、家庭教育が困難な社会になっています。

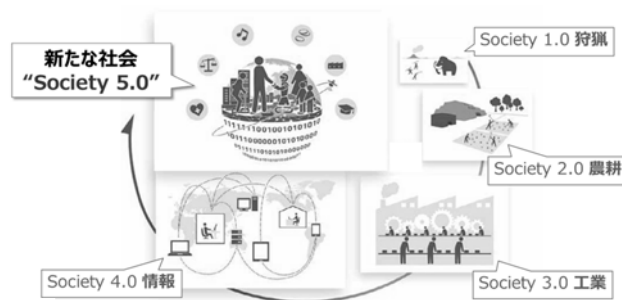


資料：厚生労働省 グラフでみる世帯の状況
(令和3年)より抜粋

●デジタル社会の進展

デジタル技術の進展により、あらゆる場面で社会生活が便利になる一方、デジタルの扱いが苦手なサービスを利用できないといった方も一定数存在します。

デジタルサービスを利用するための基本的な知識の習得機会を積極的に提供し、デジタル利用の格差をできる限り解消する必要があります。



資料：内閣府 SOCIETY 5.0「科学技術イノベーションが拓く新たな社会」説明資料

■国や県の実績

生涯学習に関する近年の国や県の実績・取組を整理します。

●国の取組

国においては平成30(2018)年に第3期教育振興基本計画を策定しました。また、中央教育審議会内に設置された生涯学習分科会において、次期教育振興基本計画の策定に向け、生涯学習・社会教育の振興方策について議論が進められています。

<p>平成 30 (2018) 年 第 3 期教育振興基本計画</p>	<p>今後の教育政策に関する基本的な方針として、「生涯学び、活躍できる環境を整える」を位置づけ、「人生 100 年時代を見据えた生涯学習の推進」、「人々の暮らしの向上と社会の持続的発展のための学びの推進」、「職業に必要な知識やスキルを生涯を通じて身に付けるための社会人の学び直しの推進」、「障がい者の生涯学習の推進」の 4 つの目標のもと、教育機関における産業界と連携した実践的な教育カリキュラムの編成・実施や学校卒業後における障害者の学びの支援などの施策群を展開している。</p>
<p>令和 4 (2022) 年 10 月 今後の生涯学習・社会教育の振興方策 (中央教育審議会生涯学習分科会(第 121 回)配付資料より)</p>	<p>今後の生涯学習・社会教育の振興方策として、「公民館等の社会教育施設の機能強化」、「社会教育人材の養成、活躍機会の拡充」、「地域と学校の連携・協働の推進」、「リカレント教育の推進」、「多様な障害に対応した生涯学習の推進」の 5 つの方策が示されている。</p>

● 県の取組の経緯

愛知県では、平成 31 (2021) 年にあいちの教育ビジョン 2025 を策定し、現在、第 3 期愛知県生涯学習推進計画の見直しを行っています。

<p>令和 4 (2022) 年 第 3 期愛知県生涯学習推進計画(案)</p>	<p>「自己を高め、地域とつながり、未来を築く生涯学習社会」を第 1 期計画から継承する基本理念として掲げ、その実現のための 3 つの柱として「自己を高め、豊かに生きる生涯学習」「人をつなぎ、地域をつくる生涯学習」「未来を築く生涯学習」が位置づけられている。</p>
<p>平成 31 (2021) 年 あいちの教育ビジョン 2025 (第四次愛知県教育振興基本計画)</p>	<p>あいちの教育ビジョン 2020 の理念を継承しながら、「自らを高めること」と「社会の担い手となること」を基本とし、ふるさとあいちの文化・風土に誇りを持ち、世界的視野で主体的に深く学び、かけがえのない生命や自分らしさ、多様な人々の存在を尊重する豊かな人間性と「知・徳・体」にわたる生きる力を育む、あいちの教育を進めることが理念として掲げられている。</p>

■西尾市の状況

●人口・世帯の状況

(1)人口

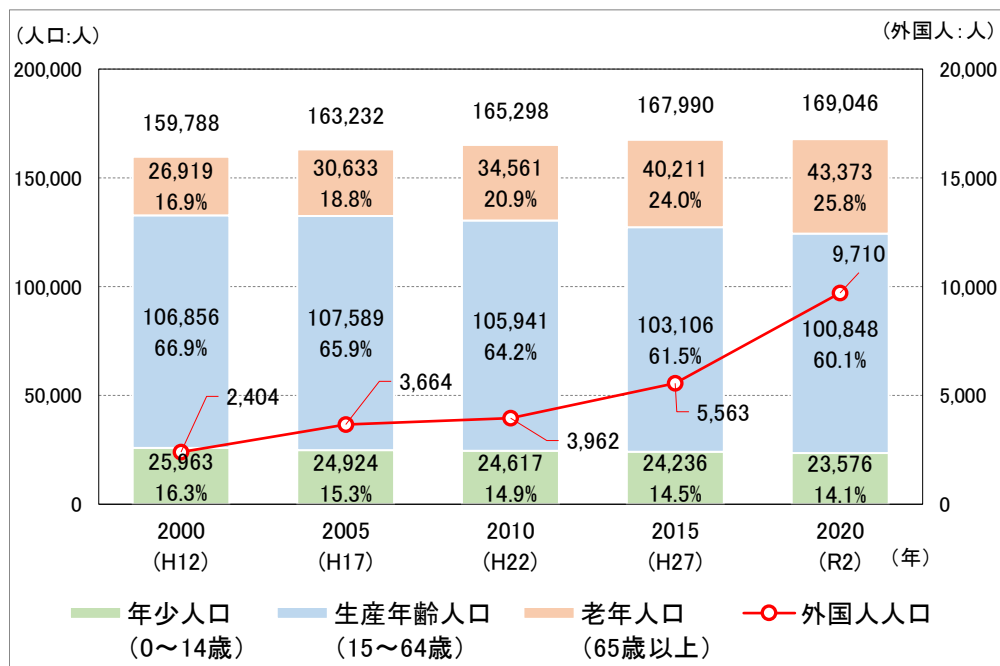
① 人口推移

- ・総人口は微増、外国人人口は大きく増加。

総人口は令和2（2020）年に169,046人（前回比0.6%増）と微増傾向にあります。年齢3区分人口をみると、65歳以上の老年人口は増加、64歳以下の年少人口、生産年齢人口は減少傾向にあります。

外国人人口をみると、令和2（2020）年には9,710人（前回比74.5%増）と大きく増加しています。

図 人口推移



※2010年以前は旧3町（一色町、吉良町、幡豆町）を合算した数値

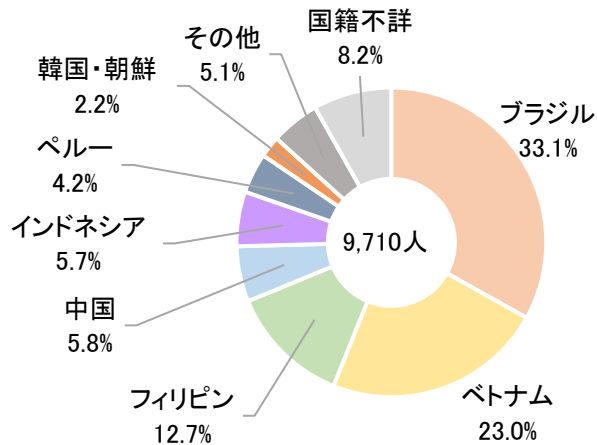
資料：国勢調査

② 国籍別外国人人口

- ・ブラジルが最も多く、次いでベトナム、フィリピンが多い。

外国人人口を国籍別にみると、ブラジルが33.1%で最も多く、次いでベトナム23.0%、フィリピン12.7%と続き、3か国で市内の外国人人口の約7割を占めています。

図 市内国籍別外国人人口



資料：令和2年国勢調査

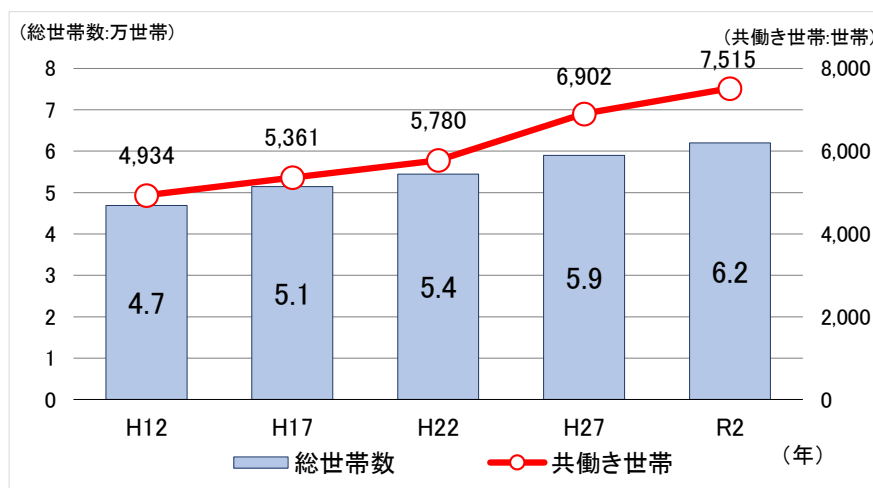
(2)世帯

① 世帯推移

- 総世帯、共働き世帯は増加傾向。

総世帯数は令和2（2020）年には62,024世帯（前回比5.2%増）と増加傾向にあります。18歳未満の子どもがいる核家族の共働き世帯をみると、令和2（2020）年には7,515世帯（前回比8.9%増）と増加傾向にあります。

図 世帯数推移



※2010年度以前は旧三町を合算した数値

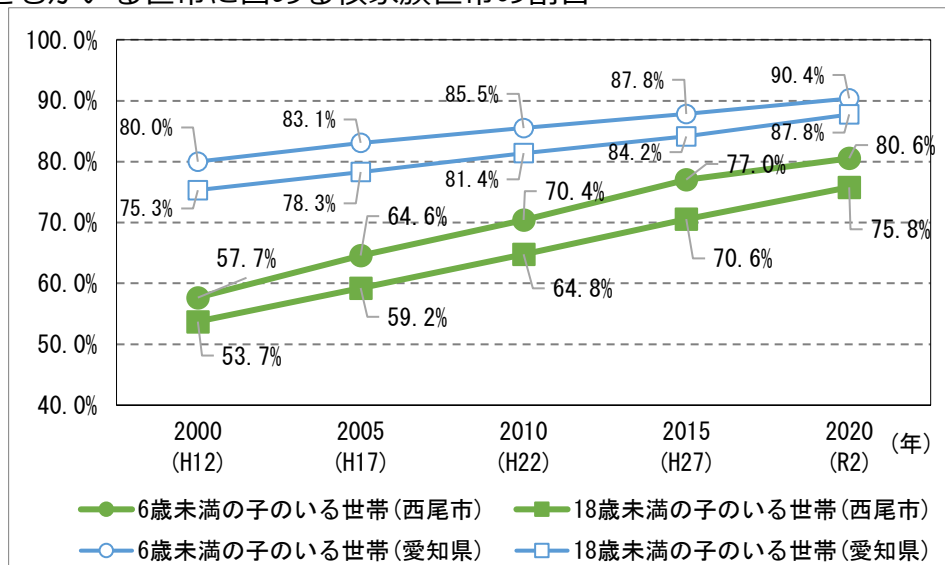
資料：国勢調査

② 子どもがいる世帯の状況

- 子どもがいる世帯のうち、核家族世帯は7～8割を占める。

子どもがいる世帯の状況をみると、6歳未満の子がいる世帯の80.6%、18歳未満の子がいる家庭の75.8%が核家族世帯となっています。いずれも前回調査時よりも増加しています。愛知県平均と比較すると、本市の方がやや低くなっています。

図 子どもがいる世帯に占める核家族世帯の割合※



※一般世帯のみの集計

資料：国勢調査

●生涯学習の状況

(1)生涯学習施設の状況

①生涯学習施設の位置

- 市内に生涯学習施設は16施設。

生涯学習施設は、社会教育法第20条の目的に沿った社会教育活動に利用する「社会教育施設」が14施設と、地域活動や世代間交流、親睦を促進するための「地域交流センター」の2施設があります。

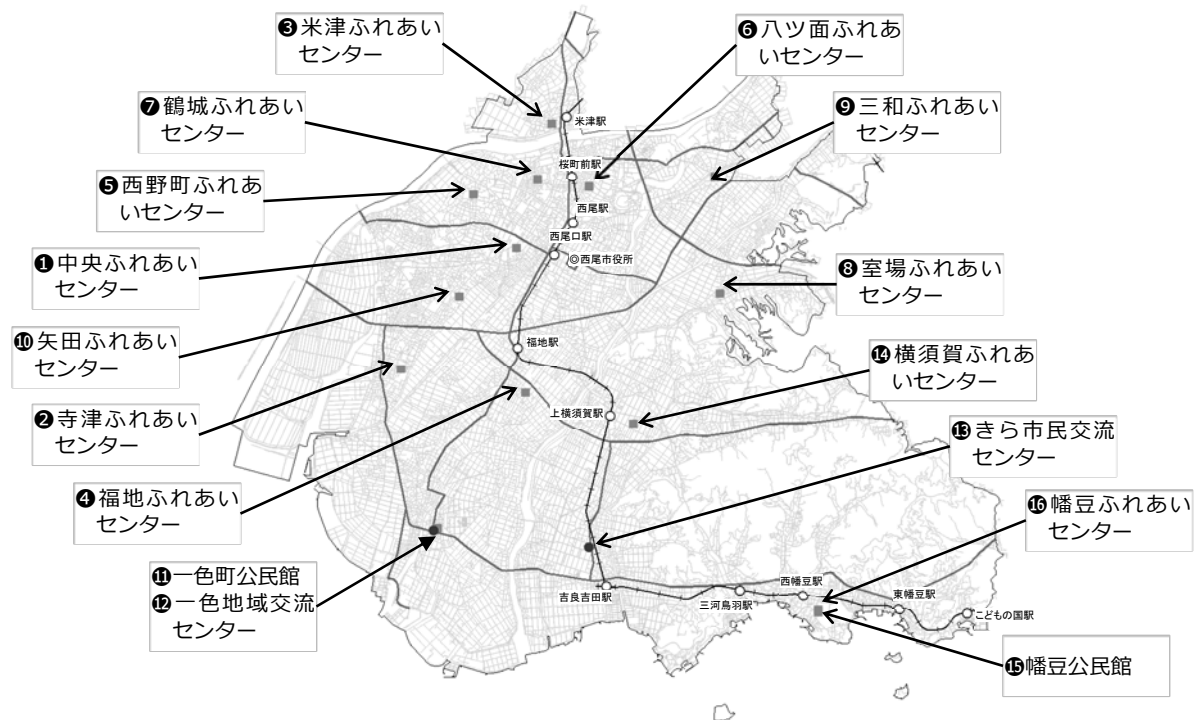
表 生涯学習施設一覧

施設名	区分	所在地
① 中央ふれあいセンター	社会教育施設	西尾市錦城町 162 番地 14
② 寺津ふれあいセンター	社会教育施設	西尾市寺津町天王山 27 番地
③ 米津ふれあいセンター	社会教育施設	西尾市米津町天竺桂 72 番地
④ 福地ふれあいセンター	社会教育施設	西尾市齊藤町向縄 1 番地

施設名	区分	所在地
⑤ 西野町ふれあいセンター	社会教育施設	西尾市上町下屋敷 17 番地 2
⑥ ハツ面ふれあいセンター	社会教育施設	西尾市戸ヶ崎町豊美 115 番地 1
⑦ 鶴城ふれあいセンター	社会教育施設	西尾市伊藤二丁目 4 番地 3
⑧ 室場ふれあいセンター	社会教育施設	西尾市室町中屋敷 152 番地
⑨ 三和ふれあいセンター	社会教育施設	西尾市米野町土井ノ内 1 番地 1
⑩ 矢田ふれあいセンター	社会教育施設	西尾市国森町不動東 102 番地
⑪ 一色町公民館	社会教育施設	西尾市一色町一色東前新田 8
⑫ 一色地域交流センター	地域交流センター	西尾市一色町一色東前新田 8
⑬ きら市民交流センター	地域交流センター	西尾市吉良町荻原桐杭 18 番地 1
⑭ 横須賀ふれあいセンター	社会教育施設	西尾市吉良町小牧郷前 5 番地
⑮ 幡豆公民館※	社会教育施設	西尾市寺部町林添 89 番地 1
⑯ 幡豆ふれあいセンター※	社会教育施設	西尾市寺部町浜田 69 番地

※令和5（2023）年4月より文化交流施設として観光文化振興課の所管となる。

図 生涯学習施設の場所



②生涯学習施設の利用状況

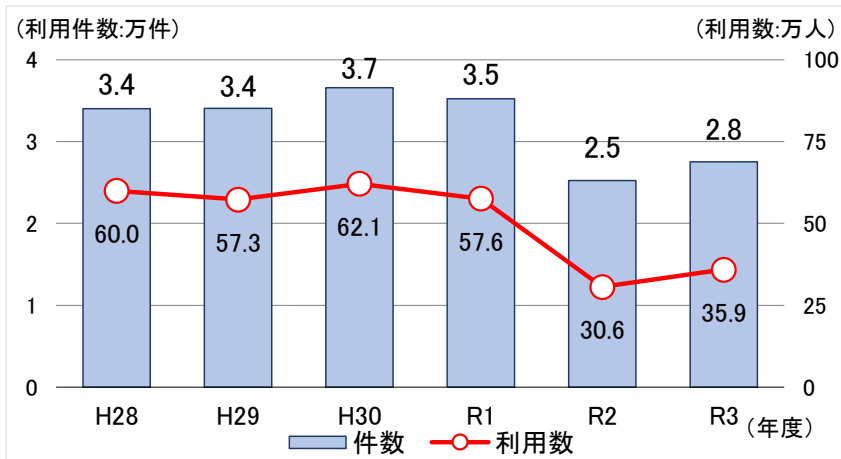
- ・利用件数は年間3～3.7万件、利用者数は50～60万人で推移。
- ・施設利用率は、全施設平均で3割程度。

利用数、利用件数とも、令和元年度までは増減を繰り返しながらほぼ横ばいで推移してきました。令和2年度以降、新型コロナウイルスの影響で大きく減少しています。

施設別にみると、矢田ふれあいセンターやハツ面ふれあいセンターの利用が多くなっています。

利用率をみると、全施設平均で30.7%となっています。施設別では矢田ふれあいセンターが49.6%と最も高く、幡豆公民館が11.9%と最も低くなっています。

図 施設利用総数推移[※]



※1 R2.12.28までは吉良町公民館、R3年度以降はきら市民交流センターの利用者の合計

資料：西尾市 令和3年度社会教育事業報告、西尾の統計

表 施設別利用状況（令和3年度）

施設名	件数	利用者数	利用率 ^{※2}
① 中央ふれあいセンター	2,326	23,463	26.5%
② 寺津ふれあいセンター	1,295	11,995	22.1%
③ 米津ふれあいセンター	2,099	28,450	41.5%
④ 福地ふれあいセンター	2,336	28,035	46.2%
⑤ 西野町ふれあいセンター	2,352	24,906	39.9%
⑥ ハツ面ふれあいセンター	3,034	34,460	45.0%
⑦ 鶴城ふれあいセンター	1,456	18,567	34.5%
⑧ 室場ふれあいセンター	786	8,966	18.7%
⑨ 三和ふれあいセンター	953	9,917	28.3%
⑩ 矢田ふれあいセンター	2,927	28,955	49.6%

施設名	件数	利用数	利用率 ^{※2}
⑪ 一色町公民館	763	7,815	15.1%
⑫ 一色地域交流センター	2,315	65,263	22.9%
⑬ きら市民交流センター	1,973	20,327	29.3%
⑭ 横須賀ふれあいセンター	1,308	22,524	38.8%
⑮ 幡豆公民館	500	5,585	11.9%
⑯ 幡豆ふれあいセンター	1,108	20,132	21.9%
合計	27,531	359,360	30.7%

※2 利用率 = 件数 ÷ 年間 281 日 (コロナ休館除く) ÷ 3 (午前・午後・夜間) ÷ 部屋数

資料：西尾市 令和 3 年度社会教育事業報告

③生涯学習施設の管理・運営

・本市の直営は 10 施設。指定管理制度による運営は 6 施設。

一部の生涯学習施設では、ふれあいセンター友の会など地域団体や民間企業を指定管理者として運営されています。

表 生涯学習施設の管理・運営

区分	施設名	運営主体		
社会教育 施設	①中央ふれあいセンター	西尾市教育委員会		
	②寺津ふれあいセンター	西尾市教育委員会		
	③米津ふれあいセンター	米津ふれあいセンター友の会	指定管理	
	④福地ふれあいセンター	福地ふれあいセンター運営委員会	指定管理	
	⑤西野町ふれあいセンター	西野町ふれあいセンター運営委員会	指定管理	
	⑥八ツ面ふれあいセンター	八ツ面ふれあいセンター友の会	指定管理	
	⑦鶴城ふれあいセンター	西尾市教育委員会		
	⑧室場ふれあいセンター	西尾市教育委員会		
	⑨三和ふれあいセンター	西尾市教育委員会		
	⑩矢田ふれあいセンター	西尾市教育委員会		
	⑪一色町公民館	株式会社エムアイシーグループ	指定管理	
	⑭横須賀ふれあいセンター	西尾市教育委員会		
	⑮幡豆公民館	西尾市教育委員会		
	⑯幡豆ふれあいセンター	西尾市教育委員会		
	地域交流 センター	⑫一色地域交流センター	株式会社エムアイシーグループ	指定管理
		⑬きら市民交流センター	西尾市教育委員会	

④生涯学習施設の利用方法

- ・公民館・ふれあいセンターと地域交流センターで利用方法が異なる

公民館・ふれあいセンターでは、利用者や予約方法に条件があり、営利はもっぱら不可となっています。一方地域交流センターは利用者や予約方法に大きな制限はなく、営利での利用が可能など、利用条件が統一されていません。

表 生涯学習施設利用方法

	社会教育施設	地域交流センター																		
利用者	<ul style="list-style-type: none"> ・市内在住、在勤、在学者の半数以上で構成される団体 ・公共施設利用団体として登録された団体 ・登録団体以外の個人・団体の方 	<ul style="list-style-type: none"> ・団体、個人 ※市内外関係なく利用可 																		
予約方法	<ul style="list-style-type: none"> ・団体、個人、登録の有無で、予約開始時期などが異なる <p>【登録団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6か月先予約の抽選に参加 ・5か月先からは先着順で予約 <p>【登録団体以外の個人・団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1か月先からの先着順で予約 	<ul style="list-style-type: none"> ・1年前から先着順で予約 																		
制限	<ul style="list-style-type: none"> ・もっぱら営利、宗教、政治等の活動は不可 	<ul style="list-style-type: none"> ・宗教、政治等の活動は不可 ※営利での利用可 																		
使用料	<ul style="list-style-type: none"> ・2円/m²×部屋の広さ ※市外、営利での利用不可 <p>表 m²単価</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>非営利</th> <th>営利</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市内</td> <td>2円/m²</td> <td>利用不可</td> </tr> <tr> <td>市外</td> <td>利用不可</td> <td>利用不可</td> </tr> </tbody> </table>		非営利	営利	市内	2円/m ²	利用不可	市外	利用不可	利用不可	<ul style="list-style-type: none"> ・m²単価×部屋の広さ ・m²単価は市内外、営利・非営利で異なる（下表） <p>表 m²単価</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>非営利</th> <th>営利</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市内</td> <td>2円/m²</td> <td>4円/m²</td> </tr> <tr> <td>市外</td> <td>3円/m²</td> <td>6円/m²</td> </tr> </tbody> </table>		非営利	営利	市内	2円/m ²	4円/m ²	市外	3円/m ²	6円/m ²
	非営利	営利																		
市内	2円/m ²	利用不可																		
市外	利用不可	利用不可																		
	非営利	営利																		
市内	2円/m ²	4円/m ²																		
市外	3円/m ²	6円/m ²																		
利用区分	<ul style="list-style-type: none"> ・3区分制 午前9時～午後1時 午後1時～午後5時 午後5時～午後9時 	<ul style="list-style-type: none"> ・3区分制 午前9時～午後1時 午後1時～午後5時 午後5時～午後9時 																		
休館日	<ul style="list-style-type: none"> ・月曜日、年末年始 	<ul style="list-style-type: none"> ・月曜日、年末年始 																		

⑤生涯学習施設の建築年数

- ・建築から50年を超える施設もみられ、適切な維持管理が求められる

1980～90年代に建てられた施設が多く、最も古い施設は、中央ふれあいセンターで、昭和45（1970）年に建築され、建築から50年を超えています。

表 生涯学習施設の建築年度

施設名	構成施設	建築年※	建築年数	備考
①中央ふれあいセンター	南棟、北棟、事務所	S45 (1970)	52年	
②寺津ふれあいセンター	本棟	H9 (1997)	25年	
③米津ふれあいセンター	本棟、会議室	H11 (1999)	23年	
④福地ふれあいセンター	本棟	H11 (1999)	23年	
⑤西野町ふれあいセンター	本棟、茶室	H12 (2000)	22年	
⑥ハツ面ふれあいセンター	本棟、工芸室	H12 (2000)	22年	
⑦鶴城ふれあいセンター	本棟	H16 (2004)	18年	
⑧室場ふれあいセンター	本棟	S56 (1981)	41年	
⑨三和ふれあいセンター	本棟	H2 (1990)	32年	
⑩矢田ふれあいセンター	本棟	H25 (2013)	9年	
⑪一色町公民館	本棟、茶室	S56 (1981)	41年	NISHIO Free Wi-Fi スポット
⑫一色地域交流センター	本棟	S62 (1987)	35年	
⑬きら市民交流センター	本棟	H30 (2018)	4年	
⑭横須賀ふれあいセンター	本棟	H2 (1990)	32年	
⑮幡豆公民館	本棟	S46 (1971)	51年	
⑯幡豆ふれあいセンター	本棟	S61 (1986)	36年	

※ 本棟の建築年。中央ふれあいセンターは南棟の建築年。

資料：西尾市公共施設長寿命化計画、にしたんマップ

(2)生涯学習講座の状況

- 多い施設で年間 60 講座程度が開催されている。
- 指定管理の施設で開催される講座は多い傾向にある。

生涯学習施設ごとに、開催されている講座等の状況をみると、最も多い施設で一色町公民館・一色地域交流センターの年間 60 講座、最も少ない施設は、矢田ふれあいセンター、横須賀ふれあいセンターの 1 講座となっています。

一色町公民館・一色地域交流センターや米津ふれあいセンター、福地ふれあいセンターといった指定管理されている施設で開催されている講座が多い傾向となっています。

表 生涯学習施設別開催講座^{※1}の状況

施設名	講座数 ^{※2}	実施時期(月)											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
①中央ふれあいセンター	23	0	6	8	8	6	4	13	12	5	8	8	2
②寺津ふれあいセンター	6	0	2	0	1	0	0	1	3	0	0	0	0
③米津ふれあいセンター	21	0	6	8	9	6	4	5	3	1	1	2	1
④福地ふれあいセンター	22	0	1	2	7	7	1	4	1	0	4	5	0
⑤西野町ふれあいセンター	12	0	1	1	5	5	3	5	1	1	3	2	0
⑥八ツ面ふれあいセンター	13	0	0	0	5	3	0	6	7	4	2	2	0
⑦鶴城ふれあいセンター	10	1	4	4	4	1	0	4	4	4	0	0	0
⑧室場ふれあいセンター	9	0	2	4	4	2	1	2	4	0	1	0	0
⑨三和ふれあいセンター	10	0	4	4	4	1	1	6	6	6	0	0	0
⑩矢田ふれあいセンター	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
⑪一色町公民館	60	1	13	17	27	22	18	24	13	11	16	16	17
⑫一色地域交流センター													
⑬きら市民交流センター	18	0	1	3	8	3	3	8	9	7	4	5	0

施設名	講座数※2	実施時期(月)											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
㊦横須賀ふれあいセンター	1	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0
㊧幡豆公民館 ㊨幡豆ふれあいセンター	16	0	4	4	4	3	1	6	1	1	2	1	0
合計	222	2	44	55	86	59	36	85	65	41	42	42	20

※1 指定管理者による自主事業、中止された講座を含む。フェスティバル等は含めない。

※2 複数月にまたがる講座があるため、各月の合計と講座数は一致しない。

資料：西尾市 令和3年度社会教育事業報告 より作成

■ 策定経過

「みんなの学びチャレンジプラン（以下「チャレンジプラン）」は、令和4年1月に実施した西尾市生涯学習に関するアンケート調査を皮切りに、5回の生涯学習推進委員会、社会教育審議会、議会報告、教育委員会報告、パブリックコメントを経て策定しました。

以下に策定の経過を示します。

表 チャレンジプランの策定経過

年	月日	項目	備考
令和4 (2022)	1月26日～ 2月14日	西尾市生涯学習に関するアンケート調査（市民向け）の実施	・無作為に抽出した20歳以上の市民2,000人を対象に実施
〃	2月2日～ 2月10日	西尾市生涯学習に関するアンケート調査（施設利用者向け）の実施	・生涯学習施設（ふれあいセンター・公民館・地域交流センター）の利用者（1施設あたり35人に依頼）490人
〃	6月28日	第1回西尾市生涯学習推進委員会	
〃	7月12日	第2回西尾市生涯学習推進委員会	・先進地視察
〃	8月26日	第3回西尾市生涯学習推進委員会	
〃	9月30日	第4回西尾市生涯学習推進委員会	
〃	11月25日	第5回西尾市生涯学習推進委員会	
〃	12月19日	第2回社会教育審議会報告	
令和5 (2023)	1月10日	議会報告	
〃	1月11日	教育委員会報告	
〃	1月27日～ 2月19日	パブリックコメントの実施	
〃	3月31日	チャレンジプランの公表	

■西尾市生涯学習推進委員会

チャレンジプランの策定の中心となったのは西尾市生涯学習推進委員会（以下「推進委員会」という。）です。推進委員会は、教育委員会が定めた策定方針に基づき、提案したチャレンジプラン案に対して市民の皆さんの生の声を伺うことを目的に、生涯学習に精通した市民代表9名で構成された組織です。チャレンジプランは下表のとおり、推進委員会の中で検討されてきました。ここでは、規則、推進員名簿とともに、推進委員会議事録を収録しています。会議は原則として公開で行いました。

表 西尾市生涯学習推進委員会の開催履歴

年	月日	項目	協議事項
令和4 (2022)	6月28日	第1回西尾市生涯学習推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> 第1期西尾市生涯学習計画の振り返り 生涯学習に関するアンケート結果について 第2期生涯学習推進計画の策定について
"	7月12日	第2回西尾市生涯学習推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> 先進地視察 <ul style="list-style-type: none"> ござかい葵風館（豊川市） 富塚協働センター（浜松市中区）
"	8月26日	第3回西尾市生涯学習推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習推進計画についてのワークショップ <ul style="list-style-type: none"> (1)子どもに対する生涯学習について (2)障がい者に対する生涯学習について
"	9月30日	第4回西尾市生涯学習推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習推進計画についてのワークショップ <ul style="list-style-type: none"> (1)家庭教育力の低下について (2)生涯学習施設の利用条件の統一について
"	11月25日	第5回西尾市生涯学習推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> 「みんなの学びチャレンジプラン（第2期西尾市生涯学習推進計画）」案について

●西尾市生涯学習推進委員会規則

令和2年3月26日教育委員会規則第6号

(趣旨)

第1条 この規則は、西尾市生涯学習推進委員会（以下「推進委員会」という。）が、市民の生涯学習及び地域づくりの要請に應えるため、また、市民の自主的な学習活動のリーダーとして、効果的にその活動を推進するため、西尾市附属機関に関する条例（昭和39年西尾市条例第16号）第3条の規定に基づき、推進委員会について必要な事項を定めるものとする。

(所掌事務)

第2条 推進委員会は、次に掲げる事項について活動するとともに教育委員会の諮問に依りて調査及び審議をし、その結果を教育委員会に答申する。

- (1) 各種講座、研修会等の企画、運営、指導及び支援に関すること。
- (2) 団体及びグループ活動の育成及び相談業務に関すること。
- (3) 地域活動の組織化及び指導に関すること。
- (4) 生涯学習における市の推進計画策定に関すること。
- (5) 生涯学習のまちづくり推進に関すること。
- (6) 生涯学習関係のフェスティバル開催に関すること。
- (7) その他生涯学習推進に関すること。

(組織)

第3条 推進委員会は、推進員20人以内で組織する。

2 前項の推進員は、市内に在住し、又は市内で生涯学習活動（教育委員会が認める活動に限る。）を行う者であって、生涯学習について知識及び経験を有するもののうちから、教育委員会が任命する。

(任期)

第4条 推進員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 前項本文の規定にかかわらず、推進員が欠けた場合の補欠推進員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第5条 推進委員会に会長及び副会長を置き、推進員の互選により定める。

2 会長は、会務を総理し、会議の議長となる。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 推進委員会の会議は、会長が招集する。ただし、推進員の任命後最初に開かれる会議並びに会長及び副会長が欠けたときの会議は教育長が招集する。

2 推進委員会の会議は、推進員の過半数が出席しなければ開くことができない。

3 推進委員会の議事は、出席推進員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

4 推進委員会は、必要があると認めるときは、関係者の出席を求め、意見を聴取することができる。

(専門部会)

第7条 会長は、推進委員会に専門的事項を分掌させるため専門部会を置くことができる。

2 専門部会は、推進員で構成する。

3 専門部会に部会長を置き、推進員のうちから会長が指名する。

4 部会長は専門部会の事務を掌理する。

5 部会長に事故あるとき又は部会長が欠けたときは、専門部会に属する推進員のうちから部会長があらかじめ指名した者がその職務を代理する。

(守秘義務)

第8条 推進員は、職務上知り得た秘密を他に漏らしてはならない。また、その職を退いた後も同様とする。

(庶務)

第9条 推進員会の庶務は、教育委員会事務局生涯学習課において処理する。

(委任)

第10条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、教育委員会が別に定める。

●推進員名簿（敬称略・五十音順）

氏名	所属肩書等	備考
浅岡 文雄	学識経験者	
川上 貴美恵	多文化ルーム KIBOU（きぼう） 多文化共生教育コーディネーター	
鳥山 絢子	寺子屋にしお指導員	
中嶋 和恵	学識経験者	副会長
野口 富雄	ちびっこ科学スクール講師	会長
林 光征	(一社)西尾市スポーツ協会専務理事 サタデープラン運営協議会委員	
平岩 富司代	生涯学習講座講師	
牧野 明広	NPO 法人 やらまいか人サポート理事長	
山下 佳奈子	生涯学習講座講師	

●議事録

(1)第1回

第1回は、会長、副会長を選出し、(1)第1期西尾市生涯学習推進計画の振り返りについて、(2)生涯学習に関するアンケート調査結果について、(3)第2期西尾市生涯学習推進計画の策定について、の3つの事項を協議しました。

以下に協議の記録を示します。

開催日時	令和4年6月28日(火) 午後1時30分～3時30分
開催場所	西尾市中央ふれあいセンター 3階 視聴覚室
出席者	<p>【生涯学習推進員】</p> <p>野口 富雄 (ちびっ子科学スクール講師)</p> <p>中嶋 和恵 (学識経験者)</p> <p>浅岡 文雄 (学識経験者)</p> <p>川上 貴美恵 (多文化ルームKIBOU 多文化共生教育コーディネーター)</p> <p>鳥山 絢子 (寺子屋にしお指導員)</p> <p>林 光征 (サタデープラン運営協議会委員、(一社)西尾市スポーツ協会副理事長)</p> <p>平岩 富司代 (生涯学習講座講師)</p> <p>牧野 明広 (NPO法人やらまいか人まちサポート理事長)</p> <p>山下 佳奈子 (生涯学習講座講師)</p>
議 事	<p>1 あいさつ</p> <p>2 自己紹介</p> <p>3 会長及び副会長の選出</p> <p>4 協議事項</p> <p>(1) 第1期西尾市生涯学習推進計画の振り返りについて</p> <p>(2) 生涯学習に関するアンケート調査結果について</p> <p>(3) 第2期西尾市生涯学習推進計画の策定について</p> <p>5 その他</p>
内 容	<p>1 開会及びあいさつ</p> <p>生涯学習課長よりあいさつ</p> <p>2 自己紹介</p> <p>3 会長及び副会長の選出</p> <p>推進員の互選により会長に野口推進員、副会長に中嶋推進員が選出され、野口会長進行のもと協議事項に入る。</p> <p>4 協議事項 (1) 第1期西尾市生涯学習推進計画の振り返りについて事務局から説明</p>

<推進員からの意見>

【推進員】

指導者の発掘について、講師の登録が 675 という数字がでていますが、このデータをどこで確認できるか。一般の人は見ることができないか。

【事務局】

講師の個人情報があるので一般公開はしていない。各公民館やふれあいセンターが講座を開催したいと申し出があった場合、名簿を活用している。

開催したい講座の講師を名簿から探している。

【推進員】

市民が見ることはできないということか。

【事務局】

現状見られない。

利用者の要望を聞いて講師の方へ声をかけ、講座を開催するという流れになっている。一般の方が講師登録を見て、「この講座をやりたい」という仕組みになっていない。個人情報の取り扱いと講師活動の範囲はまた別なので、講師情報を提供していくことはいいことかもしれない。

協議事項 (2) 生涯学習に関するアンケート調査結果について事務局から説明

【推進員】

今後の西尾市の生涯学習施設に期待することという項目について、「要望を反映させた生涯学習講座の実施」、「市民の誰もが利用したい生涯学習施設の整備」を両方選択した人がいるか。

【事務局】

複数回答している方はいる。

利用したい施設について「空き情報がいつでも把握できる」、「利用しやすい施設」という回答があった。今年度中に施設予約システムを導入する予定。

Wi-Fi 環境の必要性は十分理解しているが、全館に整備するには費用がかかるため、検討が必要。

協議事項 (3) 第 2 期西尾市生涯学習推進計画の策定について事務局から説明

【推進員】

施設の使い方、利用方法がわかりにくいと分析されている。思い切ってシンプルにして子どもでも高齢者でもわかるような方向はどうか。

【事務局】

使いやすさをどう表にだしていくか。どの施設も同じシンプルな名称にし、誰もが自由に使える施設を目指していきたい。

	<p>【推進員】</p> <p>市内に施設がたくさんあるものの、うまく使われていない。この際、思い切って大胆なシンプル化をはかるのも一つの方法。</p> <p>【事務局】</p> <p>利用緩和、利用しやすさの向上、現在利用している団体の方の利用等、バランスをとる必要がある。</p> <p>【推進員】</p> <p>講師として市内の多くの施設を使っているが、施設によって営利、非営利等の判断にばらつきがある。</p> <p>【事務局】</p> <p>市内に一番多い施設が生涯学習施設。営利というのも考え方ではあるが、なるべく市民の方のサークル活動では施設を自由に使えるようにしたい。</p> <p>【推進員】</p> <p>「生涯学習推進計画」という言葉に抵抗がないか。</p> <p>もっとフラットな優しい言葉はないか。子どもが気に入るような名前がいい。</p> <p>【事務局】</p> <p>今後、推進員会で考えていく。</p> <p>5 その他</p> <p>今後の日程調整</p>
--	--

(2)第2回

第2回は、先進地施策として、こぞかい葵風館（豊川市）、富塚協働センター（浜松市中区）の2か所の視察を行いました。以下に視察の記録を示します。

こぞかい葵風館の視察

開催日時	令和4年7月12日(火) 午前9時00分～10時00分
開催場所	こぞかい葵風館
出席者	<p>【生涯学習推進員】</p> <p>野口 富雄 （ちびっ子科学スクール講師）</p> <p>中嶋 和恵 （学識経験者）</p> <p>浅岡 文雄 （学識経験者）</p> <p>川上 貴美恵 （多文化ルーム KIBOU 多文化共生教育コーディネーター）</p> <p>鳥山 絢子 （寺子屋にしお指導員）</p> <p>林 光征 （サタデープラン運営協議会委員、(一社)西尾市スポーツ協会副理事長）</p>

	平岩 富司代 (生涯学習講座講師) 牧野 明広 (NPO法人やらまいか人まちサポート理事長) 【豊川市】 後藤 弘 (生涯学習課担当職員)
視察内容	1 あいさつ 2 こぞかい葵風館の概要紹介 3 こぞかい葵風館内の見学
視察の様子	   

富塚協働センターの視察

開催日時	令和4年7月12日(火) 午後1時00分～3時00分
開催場所	富塚協働センター
出席者	【生涯学習推進員】 野口 富雄 (ちびっ子科学スクール講師) 中嶋 和恵 (学識経験者) 浅岡 文雄 (学識経験者) 川上 貴美恵 (多文化ルームKIBOU 多文化共生教育コーディネーター) 鳥山 絢子 (寺子屋にしお指導員) 林 光征 (サタデープラン運営協議会委員、(一社)西尾市スポーツ協会副理事長) 平岩 富司代 (生涯学習講座講師) 牧野 明広 (NPO法人やらまいか人まちサポート理事長) 【浜松市】 野嶋 京登 (富塚協働センター コミュニティ担当職員)

視察内容	1 豊川市よろいあいさつ 2 富塚協働センターでの活動紹介 3 協働センターの見学
視察の様子	

(3)第3回

第3回は、2グループに分かれ、ワークショップ形式で、(1)子どもに対する生涯学習、(2)障がい者に対する生涯学習の2つの事項について、事業や施策のアイデアを提案しました。

以下にワークショップの記録を示します。

開催日時	令和4年8月26日(金) 午後3時00分～5時00分
開催場所	きら市民交流センター2階 多目的室
出席者	【生涯学習推進員】 野口 富雄 (ちびっ子科学スクール講師) 中嶋 和恵 (学識経験者) 浅岡 文雄 (学識経験者) 川上 貴美恵 (多文化ルーム KIBOU 多文化共生教育コーディネーター) 鳥山 絢子 (寺子屋にしお指導員) 林 光征 (サタデープラン運営協議会委員、(一社)西尾市スポーツ協会副理事長) 平岩 富司代 (生涯学習講座講師)

	<p>牧野 明広 (NPO法人やらまいか人まちサポート理事長)</p> <p>山下 佳奈子 (生涯学習講座講師)</p>
議 事	<ol style="list-style-type: none"> 1 あいさつ 2 前回の振り返り 3 グループワーク
会議の様子	 

ワーク結果

Aグループ（野口富雄、牧野明広、中嶋和恵、鳥山絢子）

	小学生～中学生	小学生～大学生	高校生～大学生～30代	ダイバーシティ	共通	
参加者の工夫	親子で参加できる		10代～30代を対象とすべき	オンライン対策（引きこもり対策）	世代・国を超えて交流可能	ニーズにマッチする仕組み
講座内容の工夫	参加費を徴収する⇒何かバックする	eスポーツ講座 YouTube講座	部活ではなく身体を動かせる機会 ギターを弾ける場 ↑YouTubeで発信	楽しく作業（仕事） 自慢大会	楽しめるプログラム	
運営方法			専門スキルを持った人が教える 企業を巻き込む		学ぶ側⇒教える側へ	学んだことを地域に戻す
ハード			安全に運動できる場 ストリートピアノ（ふれあいセンター）		ハード面の充実	
その他	ポジティブキャンペーン（eスポーツ）	YouTube講座を通じたマーケティング			ソフトの充実	講座後のアンケート結果の活用


Bグループ（林光征、浅岡文雄、平岩富司代、川上貴美恵、山下佳奈子）

	小学生～中学生		高校生～大学生	ダイバーシティ	
	部活	サタデープラン			
学習の重点	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">生きる力を育てる</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">子ども達のつながり</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">子どもと大人の人脈が大事</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">人の成長と人脈が基本</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">心を教える</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">仲間づくりの大切さ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">やりたいことにチャレンジ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">交流</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">欲しい情報を若いうちに自覚する</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">心理学・自己分析</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">心を育てる</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">少しのセーフティネットがあると安心</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">サポートしてもらえれば私もできる！</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">当事者を集めるのでなく、支える人をまずは集める</div>
講座内容の工夫	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">なんでも発表会</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">アウトプットの間</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">発表の間</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">スポーツ協会 部活動と完全に別れて</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">指⇔部 指導者親活</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">部活→民間 費用の問題</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">中学生 部活動問題</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">親を巻き込んだ取組</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">技術を教える</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">安いしくつもやれる</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">体験型などところが良い</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">キャリア学習</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">民間の人と話す時間 フリートーク</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">就活に役立つための講座</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">フリートークの会</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">自己理解メソッド</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">市長と井戸端会議</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">企業社長から学ぶ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">自分が興味のある人に話を聞く 八百屋の大将とか</div>	
運営方法		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">指導者の会</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">指導者の謝礼は大事</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">民間企業とで移動タクシー</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">生徒の親がコーチになっていく</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">指導者の送迎や責任が大きい</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">若い人を集めて何がやりたいかを聞く場</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">バラエティに富んだ人との会話</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">地域密着型</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">企業とコラボを強化</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">障がいのある人の身近にいる人の場 集めること</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">長いステップをかけてやらないと難しい</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ハデイックがある人が来たいと思えることは難しい</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">場に参加するバリアを外す</div>

(4)第4回

第4回は、ワークショップ形式で、(1)家庭教育力の低下について、(2)生涯学習施設の利用条件の統一について、の2つの事項について、事業や施策、統一条件のアイデアを提案しました。

以下にワークショップの記録を示します。

開催日時	令和4年9月30日(金) 午後1時30分～3時30分
開催場所	中央ふれあいセンター 視聴覚室
出席者	【生涯学習推進員】 野口 富雄 (ちびっ子科学スクール講師) 浅岡 文雄 (学識経験者) 鳥山 絢子 (寺子屋にしお指導員) 林 光征 (サタデープラン運営協議会委員、(一社)西尾市スポーツ協会副理事長) 平岩 富司代 (生涯学習講座講師) 牧野 明広 (NPO法人やらまいか人まちサポート理事長) 山下 佳奈子 (生涯学習講座講師)
議 事	1 あいさつ 2 前回の振り返り 3 グループワーク
会議の様子	

ワーク結果

意見							
保護者の教育力向上	親の教育力不足	心理学の知識提供は有効⇒子どものやる気を育む接し方ができる	問題を抱える家庭の親へのサポートが必要(当事者同士の交流, ストレスリが出来る集い)	中学生ぐらいから自殺が増加	子どもの心の知識	子どもの心を学ぶことが必要	
地域と学校の連携推進	家庭教育授業は必要	不登校の原因0の学校もある	放課後デイ地域版などで学習などを地域が補完	第三者が補う仕組み	家庭教育学級事業は今以上に推進(定期開催, 複数開催, 親子参加型など)	地域と関わる積極的な取り組み(校区単位の児童クラブ, 寺子屋, 居住地版など)	地域の力か
行政のサポート	家庭教育に関する情報発信(IT活用)	18歳以上のハンディキャップある人たちへの対応	切れ目のないサポートが必要では	地域の教育力を上げる③ 先進事例の紹介			
子どもの学習環境の充実	不登校になった子どもへの対応	「能動的に取組みたい」ことへ熱中⇒「夢中になれる力」を高める	皆で宿題に取組なアットホームな関り合い	小学生のフォローを中心に展開			
	オンライン講座・授業、VRライブ授業	期限付でアーカイブでいつでも見られる	質問などはライブ等で聞ける	VR導入、自分の顔が見られなくてよい	ヤングケアラー		
地域でふれあう機会の創出	まいにちフェスティバルの開催	地域の教育力を上げる④イベントへの補助	地域が子どもを誘ってくれる				
地域ぐるみの教育の指導者の育成	家庭・学校・地域が一体となって各年代別にアドバイスしていく場、社会勉強をして行く場が必要	OB等による部会で家庭教育力の低下を改善	地域の教育力を上げる①指導者を育てる	子育てサポーターの育成	SOSサインをみつけるリーダー		
その他	不登校が増加	自殺や不登校の予防でなく事後対策は?	地域に関わる保護者の減	経済的困難	社会的価値の変容		

事前意見
 当日意見

(5)第5回

第5回は、「みんなの学びチャレンジプラン（第2期西尾市生涯学習推進計画）」案について協議しました。以下に協議の記録を示します。

開催日時	令和4年11月25日(金) 午後1時30分～3時30分
開催場所	西尾市中央ふれあいセンター 3階 視聴覚室
出席者	【生涯学習推進員】 野口 富雄 (ちびっ子科学スクール講師) 中嶋 和恵 (学識経験者) 浅岡 文雄 (学識経験者) 川上 貴美恵 (多文化ルーム KIBOU 多文化共生教育コーディネーター) 鳥山 絢子 (寺子屋にしお指導員) 林 光征 (サタデープラン運営協議会委員、(一社)西尾市スポーツ協会副理事長) 平岩 富司代 (生涯学習講座講師) 牧野 明広 (NPO法人やらまいか人まちサポート理事長) 山下 佳奈子 (生涯学習講座講師)
議 事	1 あいさつ 2 協議事項 「みんなの学びチャレンジプラン（第2期西尾市生涯学習推進計画）」案について 3 その他
内 容	1 開会及びあいさつ 会長よりあいさつ 2 協議事項 チャレンジプランの基本目標1について事務局から説明 <推進員からの意見> 【推進員】 健常者ばかりが対象に見える。障がい者などに向けた施策は上げられないか。豊橋で聞いたが、勉強してボランティアのスタッフとして活用する、リーダー、インストラクターに育成していくこともいいと思っている。受講者が希望すれば、インストラクター、スタッフとして活用する施策もいい。 【事務局】 基本方針3で、障がい者を対象とした施策を挙げている。 【推進員】

これだけのことをやろうとすると設備投資が必要。時間とお金がかかるのではないか。施設にきても、端末を持ってきて使えないと話にならない。

チャレンジプランの基本目標2について事務局から説明

<推進員からの意見>

【推進員】

西尾市には観光協会、文化協会、スポーツ協会などがあるが、それらとの連携は考えていないのか。

【事務局】

チャレンジ方針6に団体との連携に関するアクションプランを位置づけている。指定管理は協会が受けてくれるといい。幡豆では文化協会が受けてくれる。地元の団体が施設の運営を担ってもらった方が地域密着が進んでいいと思っている。

チャレンジプランの基本目標3について事務局から説明

【推進員】

チャレンジ方針5で、親子で参加する講座、子どもだけでも参加できる講座など、すみわけをした方がよい。親子一緒がよいが、親の都合で子どもだけの出席を認めてほしいとの意見もある。

【事務局】

出前講座で対応してもよいか。

【推進員】

どこでもいいが、講座をいれていくことがよい。

【推進員】

学生ボランティアの活用は、特定の大学を想定しているのか。

【事務局】

特定はしていない。

【推進員】

中高生は親や先生など大人の都合がつかず、長続きしないことも多い。大学生は、ボランティアで単位が取れる大学の学生は熱心。学生ボランティアは大歓迎だが、なかなか定着しないし、どこにいるのかわからない。


【事務局】

学生に限定しないほうがよいか。

【推進員】

学生ボランティアの活用は新しい試みなので、集まりは悪いかもしれないが SNS 等で発信してやってみて、それ以降、どのようにしたら集まるかを考えればよいのではないか。

【事務局】

	<p>学生に限らないよう修正する。</p> <p>【推進員】 ボランティアを募集する、と言って集めるより、手伝ってもらいたい内容を明確にした方が長続きするのではないか。</p> <p>【推進員】 ボランティアのマッチングを進めるには、スタッフが3、4名必要で、そこに行けば、必ず、スタッフがいる、ということが必要である。</p> <p>【事務局】 学生ボランティアなども、行政がやることに参加してもらっただけでなく、企画段階から関わってもらっことも必要と考えている。</p> <p>【推進員】 ボランティアを受け入れる団体に対しても、サポートが必要。</p> <p>【推進員】 楽しいだけのボランティアは続かない。助けてあげたい、という気持ちになれるものが長続きする。</p> <p>チャレンジプラン第5章について事務局から説明</p> <p>【推進員】 PDCA サイクルで事業をチェックしていくことは重要。見直しは必ず必要である。</p> <p>【推進員】 アクションプランの推進は、生涯学習課が担当する、という認識でよいか。</p> <p>【事務局】 推進は、生涯学習課で行う。</p> <p>3 その他 今後のスケジュールの説明</p>
<p>会議の様子</p>	

●推進員からのコメント

策定に関わった各推進員から、チャレンジプランに込めた思いについてコメントを頂きました。以下に各推進員のコメントを示します。

<p>野口 富雄</p> 	<p>誰もが、何時でも好きなことに楽しみながら生涯取組みができる様に向こう 10年間の指針案を推進員メンバーの知識と経験を共有してまとめることが出来たと思います。これからは、みんなが継続して学び、少子化と高齢化における地域社会でのチャレンジに役立つことを願っています。</p>
<p>中嶋 和恵</p> 	<p>プラン策定に向けて、推進員それぞれが熱い思いを出し合い、中身の濃い活動ができました。サブテーマ「ひとりひとりが輝く共生社会を目指して」に私たちの思いが込められていると思います。</p>
<p>浅岡 文雄</p> 	<p>生涯学習にはいろいろなステージがあり、幅の広さも奥の深さも多彩な内容をあらためて考えるよい機会をいただきました。施設の利用ルールを優しくし誰でもいつでもという大らかさが大切にされることを願っています。</p>
<p>川上 貴美恵</p> 	<p>私たちの住む地域には、様々な地域や国出身の人が暮らしているという特徴があります。多様な市民が心豊かに自分らしくいられる町であってほしいという思いを込めました。</p>
<p>鳥山 絢子</p> 	<p>寺子屋にしお指導員として子どもと接し、子ども達や保護者の方がこんな学びに興味があるのか、また幅広い世代の方々がいくつになっても学べる、ステップアップ出来る場所が作れたらという思いを持って参加しました。</p>
<p>林 光征</p> 	<p>私はチャレンジという言葉が大好きです。他の人がやれない事をするのが人生かと思うくらいです。結局 1 人では出来ないので沢山の知恵を借りてやり尽くす。これが私の思いです。</p>
<p>平岩 富司代</p> 	<p>新しい学びへの挑戦は自分の進化を実感する喜びの好循環を生み出します。好循環はさらに素敵な仲間を呼びよせ、互いにつながり刺激し合って豊かに成長する、そんな市民の姿を思い描き策定のお手伝いをしました。</p>
<p>牧野 明広</p> 	<p>これからの生涯学習推進計画策定に対し、より多くの方がご利用いただける施設への期待を私自身も思いを寄せていました。 多世代・多文化交流で新たな出会いや連携協働により、生涯学習の枠を超えた「ワクワクするまちづくり」が共創される計画になったと確信しています。</p>
<p>山下 佳奈子</p> 	<p>子育て世代として、講座講師として、この活動を通し西尾市が市民の心の居場所をたくさん提供していることを知りました。子育て世代のお母さんたちがより行きやすくなるよう、技術者が知りたい市民に伝えることができる機会が増えるよう、私自身これからも発信し続けていきたいです。</p>

みんなの学びチャレンジプラン

第2期西尾市生涯学習推進計画 2023→2032

発行日：令和5（2023）年3月13日

〒445-0864 愛知県西尾市錦城町162-14

発行者：西尾市教育委員会

TEL：0563-55-3515 FAX：0563-56-7737

企画・編集：西尾市教育委員会事務局 生涯学習課

E-mail：syougaigakusyuu@city.nishio.lg.jp

